## 2024

## 第41回 ヨーロッパ・キリスト者の集い

参画教会:スイス日本語福音キリスト教会、フランクフルト日本語福音キリスト教会 南ロンドン日本語キリスト教会、カールスルーエ聖書の学び会





Christliches Gästezentrum Württemberg

Willy-Schenk-Straße 9 73527 Schwäbisch Gmünd

定員:200名

#### 2024年7月25日(木)-28日(日)

Schönblick

会場のご案内

Tel.: <u>07171 9707-0</u> E-Mail: info@schoenblick.de

#### 実行委員

スイス日本語福音キリスト教会 今村泰典

ファンクフルト日本語キリスト教会 ブリュック留理子 南ロンドン日本語キリスト教会

カールスルー工聖書の学び会 佐々木久幸

デュッセルドルフ日本語キリスト教会 ピーケンブロック・トマス オランダ日本語聖書教会

ミュンヘン日本語キリスト教会 井野 葉由美



#### テーマ: 時がある

#### 『すべてのことには定まった時期があり、天の下のすべての 営みに時がある』 (伝道者の書3:1)

「すべてのことには定まった時期があり、天の下のすべての営みに時がある」と伝道者は語ります。戦争や災害など、様々なことが起こり、時代が移りゆく中で、私たちキリスト者はどのように生きていけばよいのでしょう。

引き続き、ウクライナやパレスチナでは激しい戦争状態が続く中、今年はイスラエル情勢に詳しいクリスチャンジャーナリストの石堂ゆみ先生を日本からお招きして特別講演を行います。また、定期的にイスラエルに赴き、長年ユダヤ人と交流を持っておられるマルチン・マイヤー先生からも現地の情勢を特に聖書の観点からお話を伺います。昨年に続き、ウクライナについても皆で祈りの時を持ちます。

神のなさることはすべて時にかなって美しく、神はまた人の心に永遠を与えられました。私たちキリスト者はいかなる時も揺るがされることなく、永遠の視点をもって、力強く与えられた道を歩み、全うしていくことができますように。永遠に変わらぬお方を恐れ、仰ぎ見つつ、今年の夏も皆で御前に集いましょう。

実行委員会一同



第3信 10.July 2024



## CS

みんな、あつまれ!今 年もつどいがはじまるよ ~!

今年のテーマは「どん なことにも時がある」だ よ。

私たちのまわりでは色 んなことがおこるけど、 すべてをご存じの神様が いちばん良い時に良いこ とをしてくださっている と信じよう!

そして、神様が私たちを どんなに愛してくださっ ているか、どんなに素晴 らしいお方なのかを、私 たちがもっともっと知る ことができるといいね。

聖書のお話や、賛美、 お祈り、そして楽しい工 作やゲームなどのアク ティビティーもいっぱい 用意して、みんなに会え るのを楽しみに待ってい るよ!

## ティーンズのみなさん、ヤッホー

あと少しで集いだね。 今年のテーマは「時がある」。青春時代はやっぱりイエス様にあるアイデンティティーが大事だと思うから、それについてみんなで考えながら聖書を読んで学ぼう。



問を考えてきてね。 久しぶりにみんなに会える ことを楽しみにしているよ!

## ユース(20~30代)の皆さん!

本大会でじっくりと恵みをいただきつつ、ユースプログラムで楽しい時を過ごしましょう。

賛美セミナーあり、ゲームイベントあり、お悩み解決パネルディスカッションあり、そしていつもの証し会、盛りだくさんの内容で交わりを深めつつ神様の恵みを一杯にいただける時間が待っています。

「猫の手隊(なん で も お 手 伝 い 隊)」にも加わっ て、集いを作り上 げる一員にもなっ てください。2024 年夏、Here we go!



## 分科会(7月26日および27日 16:00~17:30)

分科会は興味のあるテーマやトピックによって少人数のグループに分かれ、参加者同士で語り合う場です。今年は11の分科会が開催されます。ファシリテーター、ヘルパーの任をお引き受けくださった方々に感謝しつつ、2日間に亘りじっくりと語り合いましょう。どの分科会も豊かな実り多い交わりの時となることと思います。どうぞ期待しつつ、どの分科会に参加するか考えてお備えください。

分科会の内容およびファシリテーター一覧(敬称略、順不同)

#### 1【子育てと信仰継承】



・子育ては夫婦共同の課題であり、子供が健全に育つには、何より主を信じて祝福される人生を歩んでいくことではないでしょうか。クリスチャン夫婦や未信者の配偶者を持つ方も、シングルペアレントも、子どもたちの信仰の継承と成長をともに祈り考えましょう。

ファシリテーター: トムセン ハンス、トムセン 千香子 (スイス日本語福音キリスト教会)

#### 2【仕事と伝道】



・職場でキリストの香りを放つためにできることは何か?信仰を持つ人々が少なくなっている現代社会で、信仰者であることを証ししながら歩んでいくことは簡単ではありません。福音を伝えていくことは尚更のこと。 与えられた賜物を生かしつつ、社会や教会で主に喜ばれるように歩んでいきたい。一緒に考えてみましょう。

ファシリテーター: 川副 真生 (デュッセルドルフ日本語キリスト教会)

#### 3【地元の日本人への伝道】



・異国の地で頑張る多くの日本人の同胞達、まだ主を知らずにいる方々とも 生きるべき道を知り、日々祝福される人生を共に励まし合って歩むことを願い ます。現地の日本人コミュニティの中に出て福音を広めるために共に祈り求め ましょう。

ファシリテーター: チョ サオク (ロンドンJCF)

#### 4【求道者の集い】



・信じたいけれどもなかなか信じられない。どうすれば信じることができるのでしょう。もし信じたら、何が変わるのでしょう。なかなか聞けない日頃思っていることも、疑問や心配ごと、神様のお導きを求めつつ、何でも話してみましょう。

ファシリテーター: 井野 葉由美 (ミュンヘン日本語キリスト教会)

#### 5 [Deutsche Gruppe]



Auch wenn Ihr Ehepartner Japaner ist und es sprachliche Barrieren gibt, möchten Sie möglicherweise dennoch den Glauben zusammen teilen. Wenn Sie das Bedürfnis verspüren, Ihre Beziehung zu Gott auf Deutsch zu vertiefen, kommen Sie bitte und schließen Sie sich uns an.

ファシリテーター: ピーケンブロック トマス (デュッセルドルフ日本語キリスト教会)

#### 6【音楽と信仰】



・音楽は神を讃える最高の方法であり、私たちはこの尊い賜物を主に喜ばれるように用いたいと思っています。そんな思いをお持ちの方、「人は主を讃えるために創造された」という言葉を念頭に置き、一緒に考え祈り求めていきましょう。

ファシリテーター: 横山 大輔、 横山 和子 (在欧日本人宣教会)

#### 7【夫婦関係】



・夫婦関係は、人生を歩む上で聖書に教えられる基本であり、家庭、社会での働き、信仰生活も夫婦一緒に歩むことが祝福の基本です。神様が結ばれた二人が共に生きていく上で、様々な課題がある中、 主のみこころを共に求め祈りましょう。

ファシリテーター: 矢吹 博、矢吹 育代 (フランクフルト日本語福音キリスト教会)

#### 8【恋愛.結婚】



・最愛のパートナーに出会うために、幸せな恋愛や結婚を求める人は多いです。現実には様々な課題があり、相手が未信者である場合もあるでしょう。何がみこころなのかを一緒に考え、折り求めましょう。

ファシリテーター: ハイスヴォルフ ヨハネス、 ハイスヴォルフ 眞菜 (カールスルーエ聖書の学び会)

#### 9 【黙想と折り、デボーション】



・祈りと神との個人的な交わりは信仰者の生活の基本であり、どうすれば御前に静かにひざまずく大切な時をもって、主との良い関係を保っていけるでしょう。さらに深い祝福と霊的成長のために、一緒にひと時を持ちましょう。

ファシリテーター: シスター・ソハラ (フランクフルト日本語福音キリスト教会)

#### 10【高齢者の平安】



・今までの過ぎてきた日々を振り返る時、思いがけないことがひとつやふたつはあったのではないでしょうか。 自分が考えていた人生設計通りにうまくいかなかったということもあるかもしれません。クリスチャンになって自分の信仰が素晴らしいと思うどころか、むしろ、これではだめだという思いを持っているのではないでしょうか? いつ訪れるのか誰にも分からないこの世の最期を不安を抱くことなく迎えられるよう、共に祈り求めましょう。

ファシリテーター: 金子 進 (オスロJCF)

11【国際結婚/International Marriage 日本語/English/German



・グローバル時代の今日、多くの方々が国際結婚をしています。言語も文化も違う異国で夫婦関係を築き、子どもを育て、また、信仰を持ってともに生活していくことには特別の理解と協力が必要です。家庭で教会で直面する多くの課題について、ご一緒に考えていきましょう。

ファシリテーター: 五十嵐 真弓 (オスロJCF)



#### 2024年ヨーロッパ・キリスト者の集い メッセージ概要

**7月25日 (木)** 19:30~21:00 開会礼拝

佐々木良子先生(ケルン・ボン日本語キリスト教会、ドイツ)

聖書箇所:創世記45:5~15「神の時を信じる幸い」

イエス様は、「時をよく用いなさい」、また一方では、「時を見分けることを知らないのか」と、仰せになりました。この御言葉は、混沌とした現代に生かされている私たちにも語っておられるように思います。そこで、創世記のいわゆる「ヨセフ物語」から、ヨセフの波乱万丈の生涯を通して、最悪としか思えない時を、「神の時」として信じる幸いを見て参ります。そこにはあらゆる可能性に開かれた人生が待っていて、神が最善のものを手渡してくださるのです。

**7月26日(金)** 7:00~7:30 早天祈祷会

川上寧先生(Japanese Christ's Disciples, ベルギー)

聖書箇所:マルコの福音書12:41~44「主にささげて生きる時」

「ささげる」という行為は、キリスト者から切り離すことができないものです。賛美をささげる、感謝をささげる、祈りをささげる、献金をささげる、礼拝をささげる、自分自身をささげる(献身)等々。これらのものを私たちは主なる神にささげますが、この「ささげる」とは命をかけることでもあります。礼拝とは、そもそも犠牲の生贄をささげることでしたし、主イエスもご自身を聖なる供え物として神にささげてくださったからです。

7月26日 (金) 10:00~11:30

特別講演 石堂ゆみ先生

聖書箇所:イザヤ書41:4「反イスラエル・反ユダヤの世界に備える」

私は、1989年にイスラエルの病院で働いている時に救われました。以来、30年以上になるイスラエルとの付き合いを通して、主は実質的に存在する神であり、救いもすべてがリアルなことであることを実感しています。イスラエルは、その事実を、彼ら自身の素晴らしさではなく、失敗と苦難を通して証ししています。反イスラエル、反ユダヤが正義になる世界で、どう理解し、どう生きるのかを考えます。

7月26日(金)19:30~21:00 礼拝

ディーター・ヘーゲレ先生(デュッセルドルフ日本語キリスト教会、ドイツ)

聖書箇所:詩篇90:1~17(表題「神の人モーセの祈り」も含む)「知恵の心を得させてください」

モーセは「どうか教えてください。自分の日を数えることを。そうして私たちに知恵の心を得させてください。」と祈り、限られた人生の中で何が最も大切かを神様が覚えさせてくださるように願っています。モーセが指摘する知恵とは何かを確認して、知恵の心を得た者としてどう生きるかについて共に考えたいと思います。

**7月27日 (土)** 7:00~7:30 早天祈祷会

増谷啓先生(オランダ南部日本語キリスト教会、オランダ) 聖書箇所: ヨハネの福音書4:5-7 「平和を築く3ステップ」

今の世に遣わされた私たちは、どのように平和を築くことができるのでしょうか?イエス様は、サマリアの女性と井戸で出会い、彼女と会話をし(Engagement)、受け入れ(Accept)、証(Testify)をすることの大切さを示されました。これら三つのステップ( $E \cdot A \cdot T$ )から、平和を実現するイエス様の方法を学び、祈る時としたいと思います。

7月27日 (土) 9:30~10:00 会衆賛美

ユース+横山大輔・和子ご夫妻

ユースによる会衆賛美の時を持ちます。プロのゴスペルシンガーとして活躍されている横山大輔・和子ご夫妻も加わり、みんなで一緒に主をほめたたえます。 6

7月27日 (土) 10:00~11:30 特別講演

マルティン・マイヤー先生(スイス日本語福音キリスト教会、スイス)

「イスラエルの現状を聖書の視点から見て」

現在、イスラエルとハマス・テロ組織との間に激しい戦争が続いています。この対立の原意は、聖書の視点から見てどのように理解すればよいか、一緒に学びましょう。

7月27日 (土) 14:00~15:30 祈りの時間

船越真人先生(オデッサ教会、ウクライナ)

「ウクライナ宣教」

昨年に引き続き、ウクライナで宣教活動を続ける船越真人先生より、現地住民への支援・宣教のお働きについてご報告をいただき、みなで祈りの時を持ちます。一日も早い平和回復を願いつつ、ご一緒にこの尊い働きに携わっていきましょう。

**7月27日 (土)** 19:30~21:00 礼拝 渥美充代先生 (ミラノ賛美教会、イタリア)

聖書箇所:ルツ記1:16~22「苦難の果てに待つ神の恵み ルツ記が伝える神の時」

苦難の中にある時、その先に神様が備えておられる恵みが待っていることに、私たちはなかなか気がつかないものです。夫と息子に先立たれ、異国の地で異邦人の嫁と残されたナオミの深い悲しみと絶望はいかばかりであったでしょう。「主は私を素手で帰された」とナオミは言いましたが、彼女にすがりつき離れなかったルツを通して、神のご計画にしたがって召された人たちのためには、すべてのことがともに働いて益となることを私たちは知るのです。

**7月28日(日)**7:00~7:30 早天祈祷会

ラインハード・ベルンス先生(ハンブルグ日本語福音キリスト教会、ドイツ)

聖書箇所:伝道者の書 11:1~6「神の原則を基にして生きる」

数年前なら、コロナがくる、ウクライナの戦争が起こると誰も思わなかったのです。将来において何か起こるか分かり ませんが、今どのように生きたら良いか、伝道者の書がアドバイスを与えてくださいます。

7月28日(日)10:00~11:30 合同礼拝

矢吹博先生(フランクフルト日本語福音キリスト教会、ドイツ)

聖書箇所:ヨハネの福音書 4 : 27~42 「私たちは今、何を見ているのか」

主イエスは、対話によって一人のサマリアの女性を導かれた。そして、この出来事には、イエスと弟子たちとの間の不思議な対話も織り込まれている。実際の食物のことを考えていた弟子たちに、「父のみこころを行うことがわたしの食物」だとして、弟子たちをその「食物」、為すべき務めへと招かれた。さらに、弟子たちが為すべき務めが、救いに与った女性によってすでに始められていた。この時イエスは何を見ておられたのか。今、私たちは何を見ているのだろうか。



## 2024 European—Japanese Christian Conference Message Summary

25 July, 19:30-21:00 Opening Service

Rev. Ryoko Sasaki (Japanische Evangelische Gemeinde Koln/Bonn, Germany) Genesis 45:5-15 "Blessed to believe in God's time"

Jesus said, "Make the best use of the time," but he also he said, "Why do you not know how to interpret the present time?" These words are also spoken to us who are living in the chaotic modern times. Through the story of Joseph's turbulent life as written in Genesis, we will look into the blessings for those who believe that there is "God's time," even in what appears to be worst the times. A life full of possibilities awaits you, and God will give you the best.

26 July, 7:00-7:30 Morning Prayer Meeting

Rev. Yasushi Kawakami (Japanese Christ's Disciples, Belgium)
Mark 12:41-44 "A time when we offer our lives to the Lord"

The act of "offering" is inseparable from being a Christian. We praise, give thanks, pray, donate, worship, and offer ourselves (dedication), etc. We offer these things to the Lord, but this "offering" also means risking our lives. Worship originally meant offering sacrifices, and the Lord Jesus also offered Himself to God as a holy offering.

26 July 10:00-11:30 Special Seminar Ms. Yumi Ishido

Isaiah 41:4 "Prepare for an anit-Israel / anti-Semitic world"

I was saved in 1989 while working at a hospital in Israel. Since then, through my relationship with Israel for over 30 years, I have come to realize that the Lord is God who actually exists, and that the salvation is real. Israel bears witness to that fact not through their own greatness, but through their failures and hardships. We will consider how to understand and live in a world where anti-Israel and anti-Semitism becomes justice.

26 July 19:30-21:00 Worship Service

Rev. Dieter Haegele (Japanische Evangelische Gemeinde Duesseldorf, Germany) Psalm 90:1-17 (A prayer of Moses the man of God) "Give us a heart of wisdom"

Moses prays, "Teach us to number our days that we may get a heart of wisdom," and he hopes God will help us remember what is most important in our limited lives. We would like to confirm what kind of wisdom Moses pointed out and consider how we should live as people who have acquired such a heart of wisdom.

27 July 9:30-10:00 Praise Time Daisuke & Kazuko Yokoyama

Continuing from last year, Daisuke and Kazuko Yokoyama, who are active as professional gospel singers will lead singing the praises. This year, the youth group will join in the lead. Let us all praise the Lord toget

27 July 10:00-11:30 Special Seminar

Rev. Martin Meyer (Japanische Evangelische Gemeinde Schweiz, Switzerland) "Viewing the current situation of Israel from a Biblical perspective"

There is currently a fierce war between Israel and the Hamas terrorist organization. Let us learn together how to understand the original meaning of this conflict from a Biblical perspective.

27 July 14:00-15:30 Prayer Time

Rev. Masato Funakoshi (Holy Trinity Church, Odesa, Ukraine) "Mission in Ukraine"

Continuing from last year, Rev. Masato Funakoshi, who is sent for mission in Ukraine, will report on his support and missionary works for local residents, and we will all have a time of prayer. Please join us in this precious work while praying for the restoration of peace.

27 July 19:30-21:00 Worship Service

Rev. Mitsuyo Atsumi (Milano Praise Church, Italy)

Ruth 1:16-22 "God's grace awaits at the end of hardship: God's time shown in the book of Ruth"

When we are in the midst of hardship, we often fail to realize that God's blessing awaits for us at the end. Naomi, who lost her husband and sons and was left alone in a foreign land

28 July 7:00-7:30 Morning Prayer Meeting

Rev. Reinhard Berns (Japanese Evangelische Christliche Gemeinde Hamburg, Germany

Ecclesiastes 11:1-1-6 "Live by God's principles.

A few years ago, no one would have thought that the coronavirus would come or that would be a war in Ukraina. We don't know that will happen in the future, but the book of Ecclesiastes gives us advice on how to live now.

28 July 10:00-11:30 Joint Service

Rev. Hiroshi Yabuki (Japanische Evangelische Christliche Gemeinde Frankfurt am Main, Germany)

John 4:27-42 "What are we seeing now?"

The Lord Jesus led a Samaritan woman through a conversation. The story also includes a mysterious dialogue between Jesus and his disciples. Although the disciples were thinking about actual food, Jesus said, "My food is to do the will of him who sent me and to accomplish his work," and He called them to "food," and that was the work that they were supposed to do. Furthermore, the work that the disciples were to do had already been begun by the woman who were saved. What was Jesus seeing at that time? What are we seeing now?



## <u>空港から会場までの交通手段は以下のとおりです。</u>

施設会場の最寄り駅はSchwäbisch Gmünd Bahnhofですが、Stuttgarte Hbf(シュトゥットゥガルト中央駅)からは45分ほどです。

シュトゥットガルトの空港からS-Bahn(地下鉄)もしくはU-Bahn(路面電車)でシュトゥットゥガルト中央駅まで。そこからドイツ国鉄(DB(Deutsche Bundesbahn))でSchwäbisch Gmündまで。そこからバスでRehnenhof Karlsbader Straßeへ。

Stuttgart (Flughafen/Messe 空港)→Stuttgart Hbf (Hauptbahnhof 中央駅)→Schwäbisch Gmünd→Rehnenhof Karlsbader Straße

<u>シュトゥットガルトの近郊列車・地下鉄の料金、乗り方、路線図</u> http://europe-train-travel-lab.jp/www/portfolio/europe/germany/city-train/stuttgart/ssb.html

S-Bahnは空港地下から出ています。乗り場で自販機できっぷを購入してS2線かS3線で中央駅まで向かってください。U-Bahnは空港ターミナルビルを出ましたら、目の前が駐車場になっており、Movenpick Hotelが向かいにありますが、その横に通路があります。道路の下をくぐるようにその通路を進むとU-Bahnの停車駅がすぐ見えます。

シュトゥットゥガルト中央駅で国鉄(DB)の乗り場まで移動してSchwäbisch Gmündへ向かいます。

チケットはDeutche Bahn のサイトで Stuttgart Flughafen・Messe 与 Schwäbisch Gmünd で事前に購入することができます。(Stuttgart 中央駅からではなく、Stuttgart Flughafen 空港からと入力して購入できます。)この場合、飛行機が遅れた場合でも、Schwäbisch Gmünd行きの電車であればネット予約した時に選んだ時間以外の電車以外にも乗車できます。但し、MEX、IRE(ローカル普通列車)の電車チケットの場合は、MEX、IREにしか乗車できません。IC(長距離特急列車)でSchwäbisch Gmündに止まる列車には乗車できませんのでご注意ください。

(但し、25日と26日全日に渡って、<u>線路入れ替え工事のため</u>、空港駅から途中の Vaihingen駅 までS-Bahnは全く走りません。U-Bahnをご利用ください。)

Schwäbisch Gmünd駅前からバスが一時間に数本出ています。Schwäbisch Gmünd Bahnhof駅から Line 6 で Rehnenhof行きのバスに乗ります。バスは平日は、午前8時から午後8時までは30分おきに、時間帯によっては、20分おきに出ています。 Rehnenhof Karlsbader Straßeで下車し、宿泊施設まで徒歩4分です。なお、バスの乗車時間は15-20分程度です。

宿泊施設からSchwäbisch Gmünd Bahnhofの帰りのバスについては、 施設前の通りの手前と向こう側にバス停がありますが、いずれもLine6で Schwäbisch Gmünd Bahnhofへ行くバスが出ています。

施設会場: Schönblick gemeinnützige GmbH • Willy-Schenk-Str. 9 • 73527 Schwäbisch Gmünd

Tel. 07171 9707-203 • www.schoenblick.de



第3信 10.July 2024

#### 会場への行き方+会場に着いたら







#### 車でお越しのかた

宿泊施設には駐車場が沢山ございます。タクシーでもお越しになれます。 所在地:Willy-Schenk-Straße 9, Rehnenhof, 73527 Schwäbisch Gmünd, Germany



#### 電車でお越しのかた

Schwäbisch Gmünd Bahnhof駅からLine 6でRehnenhof行きのバスに乗ります。バスは平日 は、午前8時から午後8時までは30分おきに、時間帯によっては、20分おきに出ています。 Rehnenhof Karlsbader Strßeで下車しますと宿泊施設が前にあります。バスの乗車時間は15-20分程度です。



#### 会場に着いたら

フォーラムと呼ばれる緑の建物をお探しください。フォーラムの石隣にはお城のように美しいゲストハウス、左隣に はセミナーハウスがございます。フォーラムに入りましたら、集いの受付がございます。

お部屋の鍵、しおりや名札をお受け取りください。14時から受付がはじまります。懐かしい顔、顔、顔、。いよいよ、この一年、楽しみにしていた第41回ヨーロッパ・キリスト者の集いのスタートです。





# 揭示板

#### 代表者会議

7月26日(金)の14時半から16時まで大ホールで開催されます。

各教会・集会から2名まで出席していただけますが、議決権は一人に限ります。

通訳をご希望の兄姉には 受付にて専用通訳機をお 貸しします。期間中は大 切に保管され、集い終了 後に受付 へご む だ い。



集いの開催中に、写真やビデオ に写ることを避けられたい兄姉 は、グループや集合写真を撮る 際は席をお外しになってくださ るほか、写り良い中央の席をお 避けくださる

ようお願い します。 (撮影班よ り)



扇子などご用意ください。ありますで、凌ぎ良い寝巻きやりません。暑くて眠れぬことも集会場を



## 集合写真

#### 土曜日の講演の後、 11時15分

に中庭(主会場の右手)に ある階段にお集まり(昨年 と同じ場所)ください。



メッセージの音声記録、動画、写真などは集い後、デップローがでいます。 していい フィシャル ボージを 是非ご 間ください!!



ミネラルウオーター が主会場の背後から の入り口に、25、26、 27日と用意されています ので、ご自由にお飲みく ださい。